

# 令和 8 年度 県立土浦第一高等学校自己評価表

目指す学校像	<p>(生徒)・自ら考えて主体的に行動し、自ら課題を発見・解決する生徒の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸せな未来を創造するために、多様性を受容して他者と協働できる生徒の育成を目指す。</li> <li>・自らの将来像を明確に意識し、高い進路目標を目指して果敢に挑戦する生徒の育成を目指す。</li> </ul> <p>(教員)・探究心をもって研究と修養に励み、自己の資質・能力向上を目指して学び続ける教員を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育DXによる、業務の効率化及び教科指導の資の向上を図ることができる教員を目指す。</li> <li>・生徒が希望する進路を実現できるように、キャリア教育を組織的・継続的に支援する教員を目指す。</li> </ul> <p>(学校)・生徒一人一人の人間力の育成と高い進路目標を達成する学校を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の思考力・判断力・表現力を高める探究学習の実践と、主体的な進路選択及び将来設計を支援するキャリア教育の充実を目指す。</li> <li>・生徒の安心・安全を守るため、コンプライアンス、危機管理、いじめなどについての適切な対応の徹底を目指す。</li> <li>・保護者、同窓生、地域、関係機関、そして国内外の教育機関等との連携を強化し、よりよい教育環境の整備を目指す。</li> </ul>		
三つの方針	具体的目標		
「三つの方針」 (スクール・ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神 (<b>アントレプレナーシップ</b>) をもつ生徒</li> <li>・健康管理、身だしなみの管理、時間管理など<b>セルフマネジメント</b>ができ、多様性を受容し、他者と協働して課題解決に努める生徒</li> <li>・自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力 (<b>エージェンシー</b>) を高め、将来の目標を見据えて、失敗を恐れず挑戦し続ける生徒</li> </ul>	
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫を生かした質の高い学習指導及び評価 (考査・観点別評価) を実施し、<b>確かな学力</b> (基礎的・基本的な「知識や技能」に加えて、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力等」を含めた幅広い学力) を育成する。</li> <li>・主体的に学校行事、生徒会活動・ホームルーム活動、部活動等において企画・立案・実行する中で、<b>「自主、協同、責任」の精神と感謝・報恩の精神</b>を育成する。</li> <li>・キャリア教育、グローバル教育などを充実させるとともに、自己探究・地域探究・世界探究を通して<b>グローバルリーダー</b>を育成する。</li> </ul>	
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい未来社会を創造するために自ら課題を発見し、多様な他者と協働して解決できる力の育成</li> <li>・生涯を通じて自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく資質・能力の育成</li> <li>・未来社会を創造するために高い言語能力と異文化対応力、戦略的思考をもち、世界的視野で組織を牽引できるグローバルリーダーとして貢献できる力の育成</li> </ul>	
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
「授業第一主義」を掲げて、1分1秒を大切にす る60分授業を実施し、質が高く、内容の濃い授 業を展開している。OB・OGを活用したキャリ ア教育など、主体的な進路選択及び将来設計を 支援するための取組を実施している。その結果、 難関国公立大学をはじめとする合格実績を挙 げている。一方、生徒が難関大研等を自発的に計	1 主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・ 判断力・表現力を高めるための授業改善	①難関国公立大学受験に対応できる質が高く、内容の濃い授業実践 ②生徒による授業満足度3.5以上	
	2 グローバルリーダーを育成するための探究学 習及び国際理解教育の充実	③ドリームパス等の各種コンテストへの積極的参加 ④留学生の受入等、積極的な国際交流	
	3 生徒一人一人の希望進路を実現するための組 織的・系統的なキャリア教育の推進	⑤OB・OGを活用したキャリア教育のための行事活動の充実 ⑥難関国公立大学の志願者数及び合格者数のさらなる増加	
	4 自主的・自立的態度及び豊かな人間性を育成	⑦生徒の学校行事、部活動等への主体的な参画	

別紙様式2 (高)

画・参加できる環境の整備や、自立的に学校生活をデザインしていけるよう、さらなる支援が求められる。また、働き方改革の取組として、教育DXによる業務の効率化及び教科指導の資の向上も必要とされている。		するための学校行事、部活動等の充実	⑧行事活動を通じた課題発見	
		5 保護者や地域の理解と信頼を深めるための教育活動の積極的な情報発信	⑨保護者や地域との連携・協働 ⑩教育活動の積極的な情報発信	
		6 教職員の資質・能力の向上実現に資する業務改善と職場環境づくりの促進	⑪セルフマネジメントとコンプライアンス遵守 ⑫教育DXによる業務の効率化及び適正化	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
教務部	生徒が充実した学校生活と進路実現に向けて、自発的に計画・参加できる環境を整備する。	生徒が、時代の流れに左右されない、確かな基礎学力と応用力を向上できるよう、 (1)日々の授業と考査が滞りなく、かつ効果的に実施されるよう配慮して運営する。 (2)学校行事と授業のバランスを整え、生徒が自発的に行動できる環境を作る。 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨		
	教育DXによる業務の効率化及び教科指導の資の向上させる。	全教職員が「授業第一主義」に向けて研鑽できるよう、 (1)業務の重複を見直し、全教員が生徒ファースト・授業ファーストで仕事に当たれるよう心がける。 (2)指導教諭と連携し、教員が自己の向上に取り組める時間を確保し、常に授業を改善していくことができるよう環境を整える。 ①②⑤⑥⑩⑪⑫		
	附属中・定時制と連携した円滑な校務運営	学校全体の行事や日常の学校生活において、附属中・定時制と高校の教員が、 (1)共通で実施できる活動の企画、使用できる文書などの作成は、協働して進める。 (2)合同で広報活動を行い、6か年を意識した教育内容を小中学生とその学校・保護者に伝える。 (3)報告・連絡・相談を密に行い、双方の生徒・教員の動きが見えるようにする。 ⑤⑦⑧⑨⑩		
渉外部	PTA行事の円滑な運営を図る。	役員会・理事会・総会などを企画し、参加しやすいよう、案内、出欠席回答などのGoogleフォーム利用、安全性と利便性を考慮した駐車場の確保などに努める。 ⑨⑫		
		保護者と学校間の連絡ツールの導入を目指す。 ⑨⑫		
	学校内外の円滑な連携を図る。	学年との連携により、必要に応じて奨学金制度等の情報共有を行う。 ⑩		
		入学式・卒業式等の学校行事における来賓への案内・対応を適切に行い、円滑な運営と良好な関係構築に寄与する。 ⑨		
生徒支援部	学校生活を自立的に構築し、主体的に行動する姿勢の育成	基本的な生活習慣等を自立的に確立させるとともに、安心・安全な学校生活を送るための規範意識を生徒自身が考え、行動できるよう支援する。 ⑦⑧⑨		
		交通ルールの遵守、適切な交通マナーの実践を指導するとともに、保護者や地域の方とも連携し、適宜見守り活動を行い、交通事故のない安全な通学環境を整える。 ⑨		
	学校行事や部活動における生	学年・部活動・委員会・分掌間の連携を密にし、生徒の実態把握に努めつつ、生徒が行事運		

別紙様式 2 (高)

	徒の自発的な活動支援及び体制の見直し	営や部活動へ主体的に参画できるよう支援する。 ⑦⑧		
		行事及び部活動に関する情報の共有、積極的な発信、諸規定のさらなる見直しを行う。⑧⑩		
		今後も持続可能な部活動の在り方を構築するために、活動実態を踏まえた部数の精選や活動形態の確立を行う。 ⑦		
		キャリアパスポートの作成及び活用、探究活動への積極的な支援を行う。 ⑦⑧		
	附属中学校と連携した教育活動の充実	中・高職員間の連携を密にし、6か年を意識した学校行事や部活動の充実を図る。 ⑦⑧		
		附属中の生徒との協働を通して、生徒一人ひとりが適性に合ったリーダーシップを発揮し、充実した行事運営や生徒会活動が行えるよう支援する。 ⑦⑧		
教育相談室	教育相談体制を確立し、生徒を多角的に支援する。	教育相談室の広報に努めるとともに、生徒や保護者が相談しやすい環境や体制を整える。 ⑨⑩		
		各年次や各校務分掌、SC、SSWと連携し、生徒の悩みや問題の解決に向け支援する。 ⑩⑪		
保健厚生部	安全で衛生的な生活環境を整備する。	清掃計画を作成し、生活環境が衛生的に保たれるよう分担区清掃を責任をもって実施する。 ⑪		
		校内の環境を安全・清潔に保つために定期的に安全点検を行い安心して生活できる環境を整える。 ⑪		
		避難訓練を実施し、防災力の向上に努める。 ⑦⑪		
	生徒の健康管理を支援する。	検診機関等が行う活動の準備・実施・事後措置に対し、協力・指導する。 ⑪		
		自他の生命尊重を基盤とした健全な倫理観を育み、将来の実りある自己実現に向け、性教育に関する保健指導を実施する。 ⑦⑪		
進路指導部	各学年や教科の学習指導を支援する。	各年次と共同で生徒の生活状況と家庭学習時間を把握し、学級担任や教科担任の個に応じた進路指導・学習指導を支援する。 ①②		
		生徒の進路希望に即した授業や考査の水準を維持するため、教科担当者の外部研究会への参加を支援する。また各教科での考査問題検討をすすめ、学校全体として授業改善と作問力向上に努める。 ①②⑥		
	生徒が高い目標をもち、自らの進路希望を実現できるよう支援する。	将来の生き方や生活、進路や職業について考えるための各年次の取組を支援する。また、HPで講演会等の進路関係行事の状況を発信し、保護者との連携に努める。 ⑤⑥⑦⑧		
		生徒が自分の将来をデザインするための資料や図書の提示・充実に努める。 ⑦⑩		
		進路情報交換会を開き、進路指導に関する課題の発見、その解決、指導法の改善に努め、教職員集団の共通理解に基づいた指導を推進する。そのため、各年次との緊密な連携を図る。 ①②⑥		
	適切な進路情報の提供に努め、生徒が自らの将来をデザインできるようにする。	生徒が志望校を検討する資料として、進学要覧・合格体験記を作成し、生徒面談等への活用を図る。 ⑥⑩		
生徒や各年次の状況に応じて適切な進路情報を提供し、生徒と保護者が進路について共通の認識をもつことができるよう支援する。 ⑥⑨				

別紙様式 2 (高)

		保護者や卒業生の人材バンクへの登録を積極的にすすめ、進路関係行事に協力していただくことをとおして、生徒の進路希望実現を支援する。 ⑤⑨			
図書視聴覚部	授業の展開に対応した資料を充実させる。	各教科の教員を対象に購入希望図書の調査をし、質の高い授業の達成を支援する。 ①⑥ 蔵書の効率的利用のため、コンピュータによる蔵書管理を行う。 ⑫			
	読書・作品鑑賞等を通して教養を深め、豊かな人間性を養う。	生徒の主体的な探究を促進できるような資料を精選し、継続的に収集してゆく。 ①⑥ 生徒の読書意欲を喚起するための情報収集および発信、企画等を工夫する。 ⑩			
	授業及び自主学習の場として、利便性・快適性を高める。	図書館・視聴覚室の美化に努め、利用マナーの遵守について指導し、授業を支援する。 ① 課外授業等の授業の場として視聴覚室を開放する。 ① 生徒の自主学習を支援する場として、図書館を開館する。 ⑥			
	放送業務を着実にいき、学校行事を円滑に進める。	放送機器の充実と保全に努め、生徒の行事への主体的参加を支援する。 ⑦⑫ 放送業務のマニュアル化を進め、生徒の行事への主体的参加を支援する。 ⑦			
	附属中との連携を図る。	中高のバランスに配慮した選書を行う。 ①⑥ 情報発信や図書の配置(学年文庫等)において、中高の連携を強化する。 ①⑥			
	ICT活用推進室	情報教育の環境を整備し、授業でのICT活用を進める。	事務室・教科・年次と連携し、ICT環境の整備に取り組む。 ⑨⑩⑫ 各年次での一人一台端末を使った授業に合わせ、ICT活用を更に推進し、生徒の学習理解や学習法の改善を図る。 ②⑦⑧⑫		
		情報モラルに関する意識を高める	講演会やオンライン教材を通して、情報モラル教育を推進し、情報機器や生成AI、SNS等の適切な使用についての生徒の意識向上を図る。 ⑩⑪⑫		
		情報セキュリティに関する意識を高める。	情報セキュリティやウイルス対策等に対する教職員や生徒の意識向上を図る。突発的に起きるトラブル等に対しても対応出来るような用意をしておく。 ⑩⑪⑫		
業務の軽減を進める。		ワークフローの導入に合わせ、デジタル化を進め、業務の軽減を進める。 ⑪⑫			
探究学習推進室	グローバルリーダーの育成	社会人、大学教員、大学院生、大学生、卒業生との交流や、海外大学、海外高校、県内外の他校との連携等を通じて、生徒の興味・探究心を喚起し、自ら考え行動する態度を育成する。 ③④⑤⑥⑨⑩			
	「自主・協同、責任」の精神と感謝・報恩の精神の育成	探究学習を通じ、自己を確立しつつ他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と共に思考し、協働しながら新たな価値を生み出す人材を育成する。 ⑥⑦⑧			
旧本館学習館統括室	授業の場、自習の場として活用する。	進路指導部、各学年、特に第3学年と連携し、授業および自習の場所として相応しい環境を整える。 ①⑥			
	各種行事に活用する。	学校・学年行事、研修会や会議等による使用予定を把握調整し、学習館の利用を効率的に行う。 ⑦⑧			
	旧本館の活用を図る。	旧本館活用委員会と連携し、学習・特別活動や学校行事等の利用について検討し環境を整える。 ①⑥⑦⑧ 学校休業日における地域社会との交流等のための利用について、旧本館活用委員会と検討する。 ⑨⑩			
第1年次	基本的生活習慣と授業中心の	基本的生活習慣を確立し、挨拶、礼儀、手帳を活用した時間管理など日々の生活の中で、当			

別紙様式2 (高)

	学習スタイルを確立し、探究型学習を習慣化する。	<p>たり前のことを指示されることなく、自律的に行うことができる力を養う。 ①②</p> <p>授業を中心として、全ての教科・科目において生徒を主体的に参加させる授業を展開する。自ら取り組み考える姿勢を培うとともに、知見と視野を広げ、幅広く教養を身に付けさせる。 ①②</p> <p>スタサポ、朝学習、手帳による学習計画と学習の振り返り等を通じて、自ら考え、試行錯誤しながら問題を解決する能力を獲得させ、質の高い自学を促す。 ①⑦⑧</p>		
	高い目標を設定し、それに向けて自らを律し努力する姿勢を養う。社会に貢献する人材としての基盤を育成する。	<p>進路講演会、学部学科紹介授業などを通じ、将来の目標を可能な限り高く設定ができるよう意識を喚起するとともに、自身の知識や経験を社会に還元する意識を醸成しながら、粘り強く自分の進路を切り開く力を身に付ける。 ⑤⑦⑧</p> <p>HR 活動や東大キャンパスツアーなどの年次行事を通じて社会に貢献できる基礎的な力を育成すると共に、自己認識および他者との相互交流とおとした視野の拡張と、社会のリーダーとしての素養の育成を目指す。 ⑤⑦⑧</p>		
	学校での活動に積極的に参加し、コミュニケーション能力と多様性の受容および対応力を育成する。	<p>委員会や部・同好会の活動、国内外の様々な大会などへの積極的な参加を促し、多様性を受容し、思いやりの心を育み、集団内での強いリーダーシップを育成する。 ④⑦⑧</p> <p>生徒相互の教え合いを活発化させ、知の伝達のネットワーク化を目指す。特に、成績上位者には他者に教える意義をしっかりと伝え、情報発信者として機能させるとともに指導的な立場を経験することによる成長を期待する。 ①⑦⑧</p> <p>探究学習を通じ、自ら考え、課題を設定し、問題解決を図ることでコミュニケーション能力の向上、言語化、プレゼンテーション能力の育成を図る。 ③④⑧</p> <p>LHRや探求の時間で、イマミライ手帳に学校行事、部活動大会、考査、進路行事等について振り返りを記入させ、自己理解を深め、主体的な進路選択の糧とし、自分の一年間の成長を可視化できるように支援する。 ③⑧</p>		
	保護者の理解と信頼を深めるための教育活動の積極的な情報発信を行う。	<p>学年通信を月1回発行し、年次の生徒の様子や年次の取り組みなどの情報共有を図る。 ⑩</p> <p>スクリレを導入し、保護者にPDF等でお知らせを配信したり、担任が個別に連絡を取れたりできるようにして、保護者との協力関係や情報共有体制を強化する。 ⑩</p>		
第2年次	基本的な生活習慣と授業中心の学習スタイルを確立し、さらなる探究型学習の深化を目指す。	<p>挨拶や身だしなみ、時間管理といった「当たり前のこと」を高いレベルで実践し、自立・自律して行動できる力を育む。 ①②</p> <p>授業を通じて学力を養成し、知的好奇心を喚起する。自ら課題意識を持ち、自調自考によって解決する姿勢を培う。知見と視野を広げ、幅広い教養を身に付け、自らの「志」を实践する礎とする。 ①②③</p> <p>自ら調べ考え、試行錯誤の中で課題を解決するプロセスを習慣化し、質の高い「自学」を確立する。 ①②③</p>		
	高い目標を持つ者同士が互いに認め合い、切磋琢磨することで高め合える集団を形成し、社	<p>研究室訪問やOB・OGガイダンス、進路講演会などの行事を通して、将来の目標を高く設定できるよう意識を喚起する。広く社会に目を向け、自身の知見を社会に還元する意識を育むとともに、自らの可能性を信じて進路を切り拓く力を身に付ける。 ⑤⑥</p>		

別紙様式 2 (高)

	会に貢献しうる魅力ある人材を育成する。	ホームルーム活動や個別面談を通じて、自己理解を深めるとともに、他者との交流を通じた視野の拡張を図る。社会のリーダーとしての素養の育成を目指す。 ⑦⑧			
	他者との積極的な関わりと他者受容を通じて、コミュニケーション能力を育成し、多様性を尊重する土壌を醸成する。	委員会や部・同好会の活動に主体的に関わり、多様性を認め合う中で、他者を思いやる心と、集団を導く信頼されるリーダーシップを養う。 ⑦⑧ 生徒相互の教え合い・学び合いを通じて、知の伝達をネットワーク化する。他者に伝える意義を理解し、情報発信者としての役割を担うことで、知性と人間性の飛躍的な向上を図る。 ⑦⑧			
	異文化交流を積極的に行い、多様な価値観に触れることで、国際社会で活躍しうる豊かな素養を育む	修学旅行や海外研修、外国人大学生との交流など、多様な体験を通じて知見を広げ、見識を深める。多文化共生への理解を深める中でグローバルな視野を獲得し、世界を舞台に活躍する強い意欲を醸成する。 ④⑦⑧			
第3年次	確立した基本的生活習慣を基に、授業第一主義を貫き、自立探究型学習の完成を目指す。	日常生活における、挨拶、容儀、時間管理などの当たり前のことを高いレベルで実践する。自立した行動様式に立脚した確かな実力の獲得と伸張を目指す。 ①⑥ 授業で獲得した基礎学力と興味関心の喚起を基に自らの課題意識を、自調自考し、解決する学びの基礎を構築する。 ①②⑥			
	部活動や学校行事を通して育まれた友人関係を礎に、互いに教え、啓発し合う関係に発展させ、仲間と共に進路実現を目指す姿勢を育む。	高校生活の集大成として、部活動、一高祭といった学校行事に全力で取り組み、一つのことを成し遂げたという達成感をもって人間的成長へと結びつける。 ⑦⑧ 生徒相互の教え合いや学び合いによる、知の伝達ネットワーク化をとおして学びを深化させる。他者に教え、受容される経験をとおして、学びとコミュニケーションの飛躍を図る。 ①②⑥			
	掲げた高い目標を最後まで諦めず、実現するために努力し続けることができるための支援を行う。	面談を通して、自分の適性を見つめ、目標とする進路実現のために努力を継続する態度と意欲を涵養する。 ⑥ 転換期に進路講演会、課外（東大研、医学研）を実施し、高い志をもって取り組む生徒を育てる。 ⑤⑥ 始業前や放課後の学習環境を整え、教室、学習館を学習の中心の場とするよう啓発する。 ⑥			
	国語	確かな学力の定着を図る。	「授業第一主義」の理念に基づいた学習計画を立て、「予習→授業→復習」の学習習慣に基づいた日常の自己学習の徹底を図る。 ①②③⑥⑪⑫ 小テストへの取り組み等を通して、言葉の特徴やきまり及び語彙への関心を高め、基礎的基本的な知識や技能及び思考力・判断力・表現力を習得する。 ①②③⑥⑪⑫		
	探究型の学習スタイルを目指し、自ら学ぶ力の育成を図る。	未来社会を創造するための高い言語能力を身につけるために、多様なテキストに触れ、情報の取り扱いに関する知識及び技能を高める。 ①②③⑥ 幅広く古典に親しみ、伝統的な言語文化に対する理解を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。 ①②③④⑥⑧			
	授業デザイン・評価・指導方法	授業内容の検討と共有を通して、ICTの活用を念頭に置いた指導法の研究に努め、生徒の			

別紙様式2 (高)

	を改善する。	探究心や思考力・判断力・表現力を伸長できる授業をデザインする。 ①②⑥⑩⑪⑫			
		質が高く、内容の濃い授業を展開することを心掛けて授業の発問の検討や試験の作問にあたり、最難関大学の受験へ対応できる力を養う。 ①②⑥⑩⑪⑫			
地理歴史	世界史の学習を通して、国際社会における日本人のあり方を学び、社会に貢献できる生徒の育成を図る。	世界史の通史だけでなく、テーマ史的な観点からも歴史的事象を取り上げ、近現代世界に対する多角的で柔軟なとらえ方を身に付けさせる。 ①②④⑥			
		世界各地の文化とその成り立ちを学ぶことにより、我々と異なる文化や考え方を理解・尊重する態度を育成する。 ①②④⑥			
		世界史の基礎的な知識を身に付け、それをもとに自ら考える力を育成し、表現する力を養成する。 ①②⑥			
	我が国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させるとともに歴史を追究する資質を養い、歴史的思考力を培う。	各時代の国際環境や地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という視点で考察させる。 ①②④⑥			
		地域社会の歴史と文化を扱うことにより、郷土に対する関心を高め、愛する心を育てる。 ①②③⑥			
		基礎的な知識や史料を解説する力をもとに、論述することを通じて、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。 ①②⑥			
	現代世界で発生する種々の事象に対し、自ら考える姿勢を養うとともに地理的な見方・考え方の育成を図る。	系統的な学習を通して基本的な知識の定着を図り、地誌的な学習を通して興味・関心を持って具体的に現代世界を考察する態度を養う。 ①②④⑥			
		授業進度の適切な時期を考慮して、調査や作業学習を体験することで地理的な技能を養う。 ①②③⑥			
		3年次では大学入試に対応した論理的な思考力や表現力を育成する。 ①②⑥			
	授業デザイン・評価・指導方法を改善する。	中学校との系統性を考慮したうえで、考査や模擬試験等の分析結果を活かして授業をデザインする。 ①②③④⑥⑪⑫			
		I C T機器を活用し、学習者の学びを深める。 ⑫			
公民	人間と社会の在り方についての見方・考え方の理解を深め、現代の諸課題を追究・解決する姿勢と能力を養う。	公共で必要とされる基礎的な知識を身に付け、それをもとに諸問題に対して自ら考える態度を育成する。 ①②④⑥			
		公共的な空間と人間的な関わり、個人の尊厳と自主・自立、人間と社会の多様性と共通性、人間としてのありかた・生き方についての理解と思索を深めさせる。 ①②④			
	政治・経済・国際関係などを客観的に理解し、関心を持って考察する態度を育成する。	民主主義の本質に関する理解を深め、現代社会における政治・経済・国際関係などについて理解させ、基礎的な知識を身に付けさせるとともに、それらについて主体的にとらえ、考えさせる。 ①②④			
	授業デザイン・評価・指導方法を改善する。	中学校との系統性を考慮したうえで、考査や模擬試験等の分析結果を活かして授業をデザインする。 ①②③④⑥⑪⑫			
		I C T機器を活用し、学習者の学びを深める。 ⑫			
数学	生徒の発達段階に応じた質の	綿密な授業計画表を作成し、進度計画表を生徒に配布することで生徒の学習を促すとも			

別紙様式 2 (高)

	高い授業を展開するよう授業改善する。	に、それぞれの学年の方策に従って基礎学力の定着を図る。①②③⑥⑫ 授業を中心に据えた学習計画を生徒に立てさせ、授業を重視しながら「予習→授業→復習」の学習習慣に基づいた日常の自己学習を徹底させる。①②③⑥⑦⑧ 科目担当者の連携を密にし、授業の進度や定着度合いの確認・分析を行い、学習指導に活かす。①②⑥⑫ 基本事項の理解を徹底させると共に、試験前等の問題演習を十分に行う。①②⑥ 授業内容や生徒の習熟度に応じた教材・問題等を協議検討して、その結果を学習指導に活かす。①②③⑥⑦⑧⑫ 3 学年の生徒には、基本事項を整理し、発展的な応用力の養成と定着に努め、難関大学に合格できるための思考力を養う。①②③⑥⑦⑧ 進学目標別の対策を研究するためのガイダンスや課外を実施する。また集団化を図り、生徒相互の教えあいを活性化させる。①②③⑥⑦⑧⑫			
理科	自然に対する関心・探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育成する。	授業展開の中で、生徒の興味・探究心を喚起する実験・観察教材の研究に努め、考察につながる授業を工夫する。①②			
		単元ごとに観察・実験を計画的に実施し、現象の見方や探究心を育てるとともに、レポート作成や発表を通して科学的思考力を育成する。①②⑧			
		外部講師による科学実験講座等を活用し、発展的内容に触れる機会を提供して科学的探究心を高める。②③			
	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。	身近な自然や生活の中の事象を授業で取り上げ、科学的な仕組みへの理解を深めることで、科学的自然観と学習意欲を育成する。①②			
		観察・実験結果を科学的に説明する活動を取り入れ、論理的に考察する力を育成する。①②			
		探究活動と関連付け、自然現象を多面的に捉える視点を育てる授業を展開する。①②⑧			
	基礎学力を確実に定着させ、進路希望に応じた応用力の養成を図る。	授業内容や生徒の習熟度に応じた教材・問題を精選し、演習や添削指導を通して基礎学力の確実な定着を図る。①③⑥⑫			
		3 年次では発展的な演習問題や試験問題の作問に努め、難関大学受験に対応できる応用力・思考力を育成する。①③⑥			
		進路希望に応じた課題演習や補充指導を行い、個々の進路実現に必要な学力を伸長させる。①③⑫			
	ICT活用・評価改善・指導法改善を通して、科学的思考力・判断力・表現力を伸長する授業を実践する。	観点別評価の改善、授業分析、教材研究を継続し、授業改善サイクルを確立する。①⑫			
ICTを活用した授業デザインを研究し、科学的思考力・判断力・表現力を伸長できる授業を実践する。①②⑫					
教科内で授業内容・評価方法・教材の共有を進め、指導の質を向上させる。①⑫⑫					
保健体育	運動や学習を通して、協調性を高め、仲間との関わりの中でそれぞれの力を伸ばす意識を持つ	集団種目の中で、仲間と協力・連携して活動する態度や、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする態度を育成する。①②⑦⑧			
		保健において、人体の構造や健康の尊さを多角的に学び、自己肯定感を高めるとともに、他			

別紙様式 2 (高)

	たせるように指導する。	者への深い共感に基づいた人間関係を構築できる高い人間性を育む。 ①②⑦⑧			
	運動の実践を通して、体力の向上、困難なことにも立ち向かう態度や能力を育成する。	個々の習熟度に合わせた柔軟な指導を展開し、自己の課題を客観的に捉え改善しようとする態度を評価に反映させることで、主体的に困難へ立ち向かう内面的成長を促す。 ①②⑦⑧			
		基礎技能の習熟を図るドリルに加え、プレーの意図を問う発問を体系化し、生徒が戦術を主体的に考え、選択・実行できる実践的な授業を展開する。 ①②⑦⑧			
	運動・スポーツ活動における健康・安全指導を充実させる。	熱中症対策や用具の安全点検、機能的な準備運動を行い、怪我のリスクを最小限に抑えつつ、生徒自身が主体的に心身のコンディショニングを行える能力を育む。 ①②⑦⑧			
		人体の構造や健康の尊さを多角的に学び、自己肯定感を高めるとともに、他者への深い共感に基づいた人間関係を構築できる高い人間性を育む。 ①②⑦⑧			
	よりよい授業を行うために教科内で教材等の共有や、チームティーチングを行う。	保健の授業ではICTを積極的に活用し、各単元の「導入スライド」「視覚教材(動画)」「振り返りフォーム」をGoogle Drive等で共有をする。また、消防署や警察署等の地域と連携を図る。 ⑨⑫			
		体育の授業ではTT実施後にリフレクションを行い、教員間ですぐに授業の改善点(生徒の反応や理解度)を短時間で共有し、次の時間の指導に反映させる。 ⑫			
芸術	豊かで幅の広い芸術活動や作品に音楽と美術それぞれの視点から向き合うことで、芸術文化に親しむ資質と能力を育成する。	社会の情勢や生徒の実態に沿った題材選択を行い、個性や感性を尊重した個々のレベルでの指導を充実させる。 ①②			
		学習指導要領に則り、6年間の中高一貫教育を見通しながら、生徒の発達段階を考慮した教材や授業内容及び指導方法を改善する。 ①②⑧			
	生涯学習の礎となるような芸術作品に向き合える心と豊かな情操性を育めるよう支援する。	表現活動では生徒の主体的な意見や希望を尊重し、鑑賞では感受性を豊かに、想ったことや感じたことを素直に共有できる関係性を育て、芸術の諸能力の向上を図る。 ①②⑦⑧			
		自己表現の意図を他者に分かりやすく伝える発表の能力やコミュニケーション能力を向上させる。 ②④			
		芸術的表現の良さを感じ取り、理解しようとすることで、自身の人間的な成長につながることを実感できるよう支援する。 ②⑦⑧⑪⑫			
家庭	自立した生活者に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活等に関わる基礎的・基本的な知識と技能を育成する。	実験や実習、観察や調査などの実践的・体験的な学習活動を計画的に実施する。 ①②			
		生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識や技能を問う課題や試験を計画的に実施し、ワークシート等を活用して学習内容の理解度や技能の習熟度を継続的に記録・評価する。 ①②⑥			
		ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動等を通じ、習得した知識・技能を実生活の課題解決に活用・応用する機会を設ける。 ③⑦⑧			
	生涯を見通し、世界に目を向け、生活上の課題を解決するために必要な思考・判断・表現す	ICTを活用した情報収集・分析・整理を行い、主体的・対話的に学習する場面を効果的に設定する。 ①⑥			
		科学的な根拠や理由を明確にして、考察したことを論理的に表現できるような場面を効果			

別紙様式 2 (高)

	る力を育成する。	的に設定する。 ①⑥		
		ループリックなどを活用し、思考・判断・表現のプロセスや成果物を多面的に評価する。 ①⑥		
	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築のために生活を主体的に創造しようとする態度を育成する。	生徒が家族や地域社会の方々、専門家、海外の方々など、多様な人々と協働し、家庭や地域をより良くするための活動を主体的に計画・実践できるような環境を整える。 ④⑤⑨ 協働学習を通じ、互いの意見や価値観を尊重し、合意形成を図りながら課題解決に取り組む場面を効果的に設定する。 ①②⑥ 社会貢献活動への参加を促し、社会の一員としての当事者意識や参画意識を高められるよう支援する。 ①⑨⑩		
情報	課題設定や課題解決のための思考力を養う。	課題探究活動と連携し、情報技術の有用性を理解させながら、実際に課題設定と解決方法を探る活動を通して必要とされる思考力を養う。 ①② アルゴリズムを表現し、プログラミングの基礎を学習することをとおして、論理的な思考力を育成する。 ③⑫		
	情報社会において適切に活用できる ICT 技術を養う。	ワープロ、表計算ソフト、パワーポイントを活用した課題研究と各種発表会をとおして、情報の伝達力を育成する。 ②⑫ 情報やメディアの特性を理解し、情報セキュリティや情報モラルの重要性をより実感出来るような題材を適宜選択し、生徒の素養を育成する。 ①②		
	情報技術を用いた効果的なコミュニケーション能力を養う。	プレゼンテーションや質疑応答をとおして、効果的なコミュニケーションを図るための情報技術、情報デザインを実際に活用し、自らのコミュニケーション能力向上を目指す態度を養う。 ②		
	積極的に授業改善を行う。	生徒のスキル向上を可能にする授業改善を行う。 ①②		
英語	確かな学力の育成	高等教育を受ける土台となる、総合的な英語力の育成を目指し、語学を学ぶ楽しさを生徒と共有する。また、教員と生徒が目標を共有し、共に授業第一主義を実践することで、生徒の希望進路実現を目指す。生徒には基礎基本を徹底させ、英語資格取得を支援する。 ①②⑥⑨⑩		
	指導力の向上	中高の垣根を越えた相互授業研究や入試問題の研究を通して、教員の授業力向上を図る。また、業務内容の整理と労働環境の整備に努め、業務の効率化を図る。A L T の効果的な活用を目指す。 ⑪⑫		

※ 評価基準：A 目標が十分達成された B ある程度の成果が見られた C 取り組んだ D 取り組んだが課題を残した E 取り組まなかった